

退所前に、退所に向けて不安だったこと・心配だったことを自由記述式でたずねた。主なご意見は以下の通り。

**図表 180 退所前に、退所に向けて不安だったこと・心配だったこと（自由記述式）**

**◆お金・金銭管理について**

- ・ お金のことが一番不安です。
- ・ 入学直後は金に余裕がなかった。
- ・ 親に頼る事ができなかったのでお金などは不安でした。
- ・ 金銭的に頼れるところがないので、経済面が不安だった(仕事を辞められない、続けなければという不安)。

**◆家族について**

- ・ 親が嫌いなので関わりたくないという不安。
- ・ 親が来た時の対処法。
- ・ 親との連絡を遮断してもらっていたので、そのフィルターが無くなってしまうのは不安だった。
- ・ 帰宅することを望んだのは自分ですが、親の性格上その後の関わり方などが不安でした。

**◆仕事について**

- ・ これから先、この職業で働き続けるかどうか、ホントにこれで良いのか悩んだ。
- ・ 仕事と家事の両立ができるのか心配や不安があった。
- ・ 仕事場で上手くやっていけるかが、不安でした。

**◆学校について**

- ・ 卒業できるかどうか。
- ・ 初めての一人暮らしで学業とアルバイトの両立が出来るか心配だった。
- ・ 生活費の為にバイトしなければいけないというプレッシャーで、進学しても勉強に専念出来なかった。

**◆家事・住まい・生活について**

- ・ 18歳だと借りられる家がほとんどなかった。
- ・ 保険料の払い方や水道光熱費の払い方。
- ・ 退所時がコロナウイルスの影響下真っ只中だったので生活の様々なところが不安であった。

**◆一人暮らしへの不安について**

- ・ うまく1人でこなすことが出来るのかどうかという不安がありました。
- ・ ずっと周りに大人がいた生活から、いきなり一人になることに不安があった。
- ・ 家族がいないので、一人で生きていけるか漠然とした不安がありました。

◆**孤独感について**

- ・ 孤独な感じは感じた。退所すると毎日関わってくれる訳ではないので。
- ・ 知らない土地に行かなくてはいけない、やっていけるか、集団生活からの孤立に耐えられるか不安だった。
- ・ 一人暮らしの孤独感を防ぎたくて、同棲生活をしたり、一人が本当に寂しかった。親がいないことへの寂しさみたいなものがずっとあって、何かでその寂しさを埋めようと必死だった。

◆**人間関係について**

- ・ 人間関係は特に怖かったです。関係が崩れそうな気がしました。
- ・ 人見知りだから友達できるかな…。
- ・ 施設にいたことで偏見を持たれないかどうか。

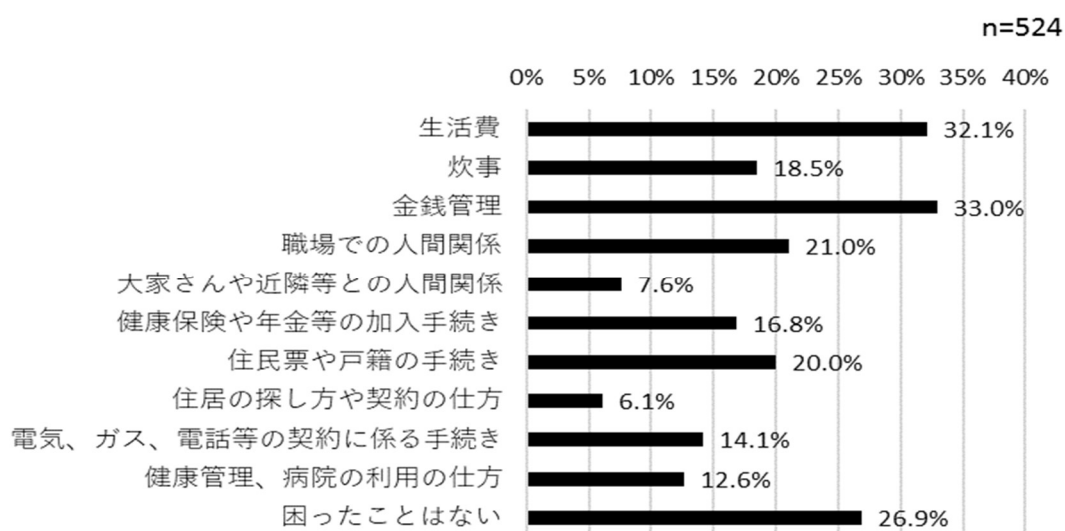
◆**将来のことについて**

- ・ 自分の人生は自分で決められない。
- ・ 自分は結婚できるのか。いいところに就職できるのか。
- ・ 就職、進学等決まっていなかったため、この先どうやって生きていけばよいのかなど。

## (2) 退所直後にまず困ったこと

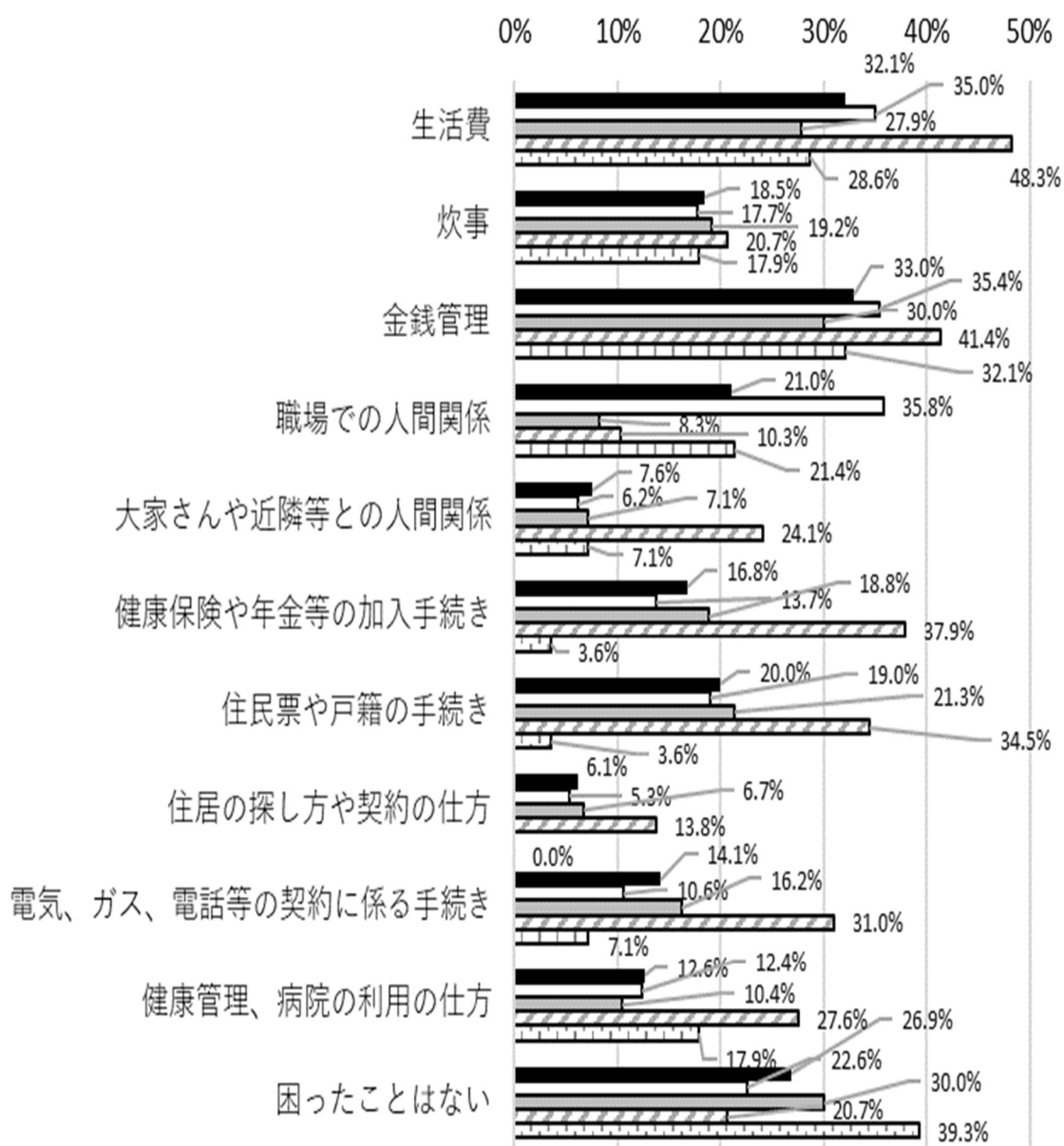
「金銭管理」の割合が最も高く 33.0%となっている。次いで、「生活費 (32.1%)」、「困ったことはない (26.9%)」となっている。

図表 181 退所直後にまず困ったこと (複数回答)



退所直後の進路別にみると、「就職」では「職場での人間関係」が 35.8%と最も割合が高くなっている。「進学」では「金銭管理」、「困ったことはない」が 30.0%と最も割合が高くなっている。「未定だった」では「生活費」が 48.3%と最も割合が高くなっている。「その他」では「困ったことはない」が 39.3%と最も割合が高くなっている。

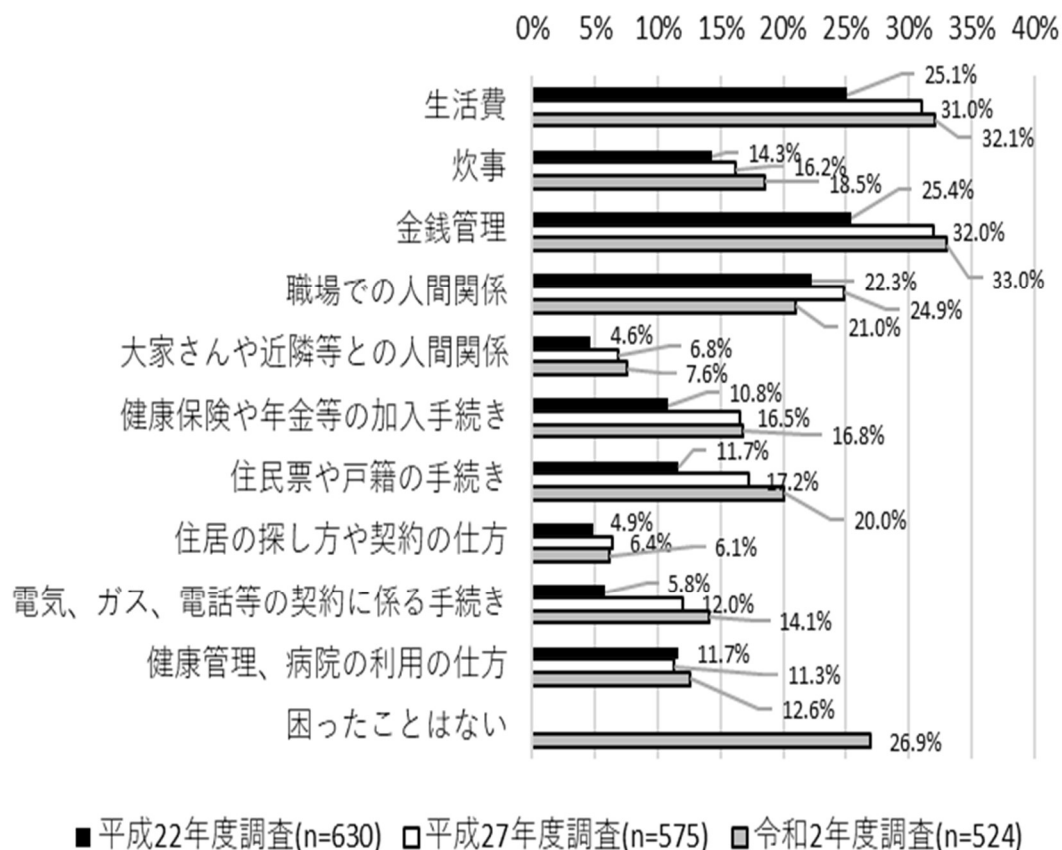
図表 182 退所直後にまず困ったこと（複数回答）（退所直後の進路別）



■ Total(n=524) □ 就職(n=226) ▨ 進学(n=240) ▩ 未定だった(n=29) ▪ その他(n=28)

前回調査と比較すると、「金銭管理」「生活費」といった上位2位の項目は変わらなかった。

図表 183 退所直後にまず困ったこと（複数回答）（前回調査との比較）

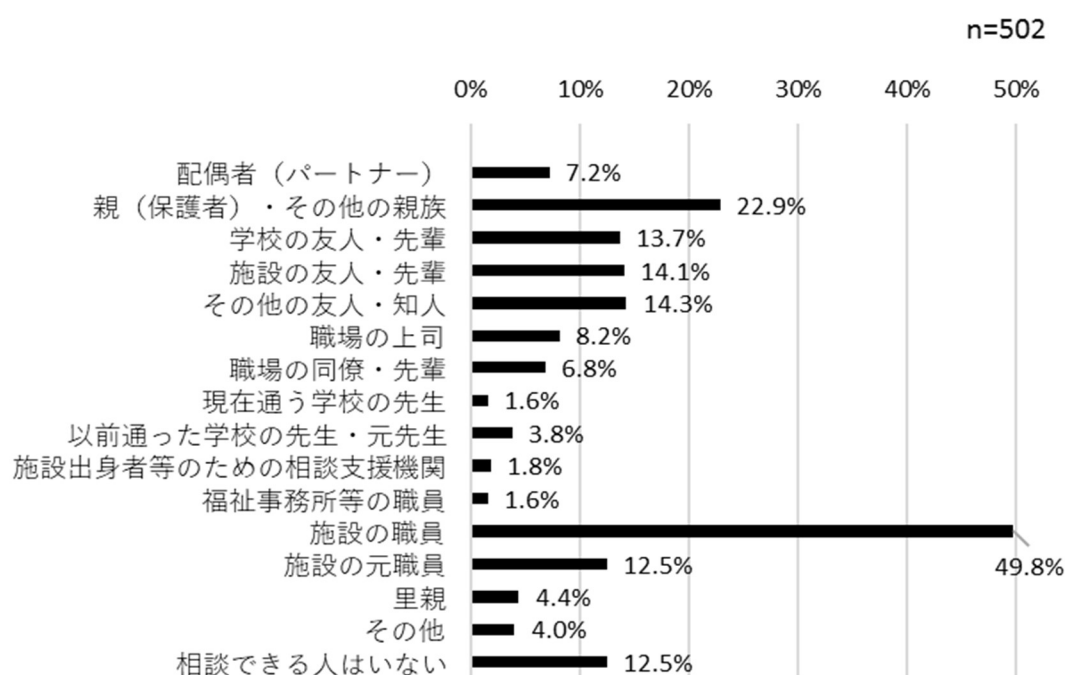


(注) 今回調査では、「困ったことはない」を追加した。ずねた。

### (3) 退所直後の困ったことに対して、主に相談した相手

「施設の職員」の割合が最も高く 49.8%となっている。次いで、「親（保護者）・その他の親族（22.9%）」、「その他の友人・知人（14.3%）」となっている。

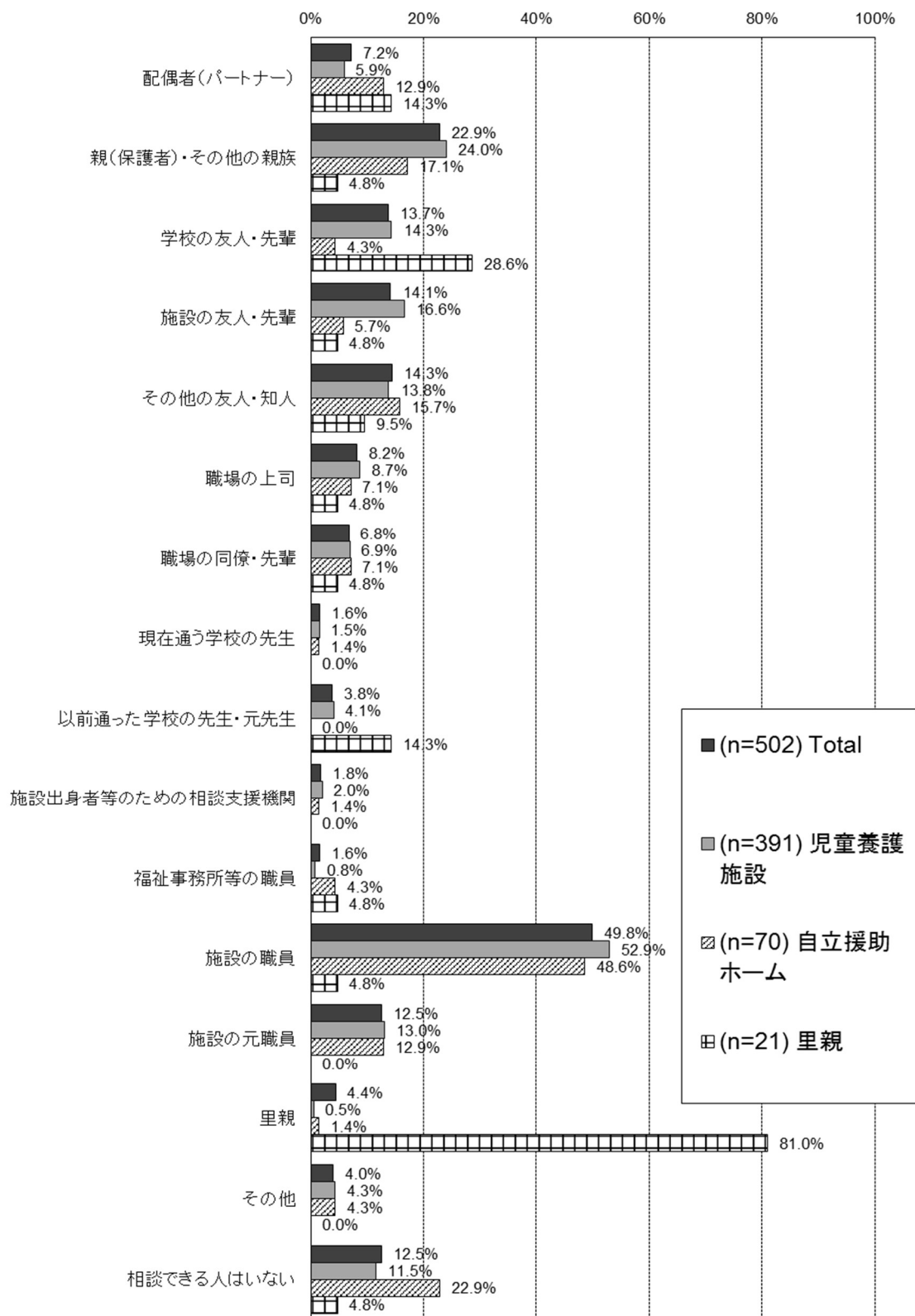
図表 184 退所直後の困ったことに対して、主に相談した相手（複数回答）



（注）「その他」として、「相談していない」、「困っていない」、「友人の親」、「交際相手」、「SNS」、「医療機関と警察」などが挙げられた。

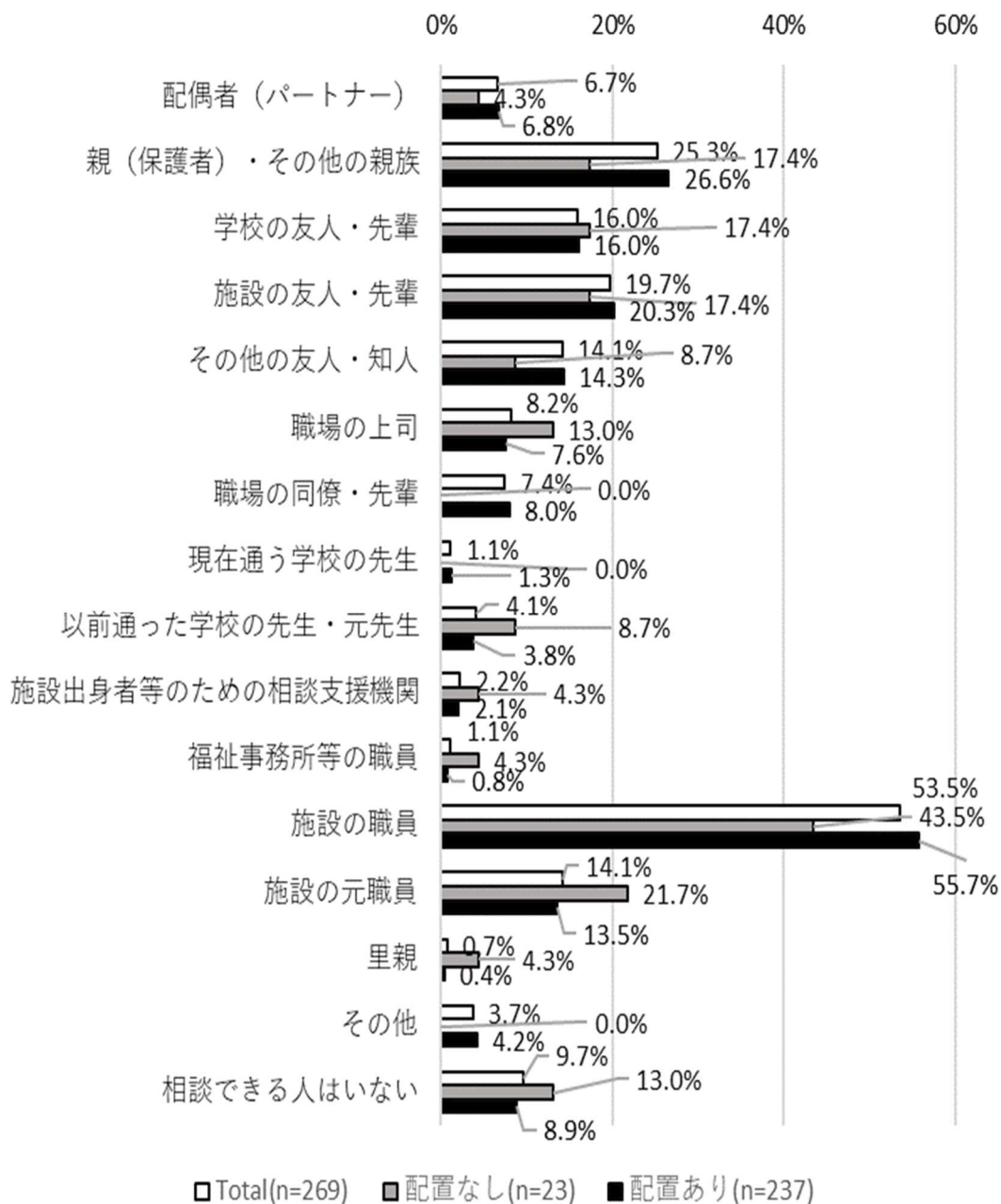
施設の種類別にみると、「児童養護施設」では「施設の職員」が 52.9%と最も割合が高くなっている。「自立援助ホーム」では「施設の職員」が 48.6%と最も割合が高くなっている。「里親」では「里親」が 81.0%と最も割合が高くなっている。

図表 185 退所直後の困ったことに対して、主に相談した相手（複数回答）  
（施設等の種類別）



自立支援コーディネーター配置状況別にみると、「施設の職員」と回答した割合は、「配置なし」が43.5%に対し、「配置あり」が55.7%となっている。また、「相談できる人はいない」と回答した割合は、「配置なし」が13.0%に対し、「配置あり」が8.9%となっている。

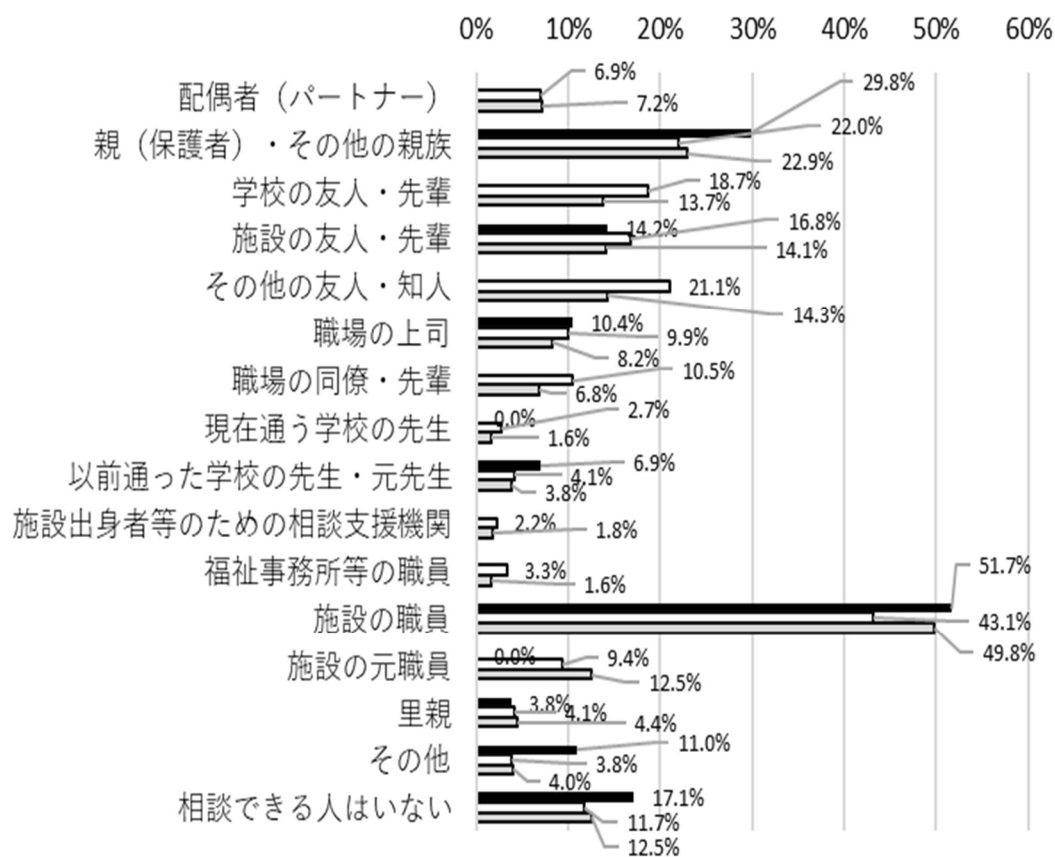
**図表 186 退所直後の困ったことに対して、主に相談した相手（複数回答）（自立支援コーディネーター配置状況別）（民間児童養護施設・平成25年度以降退所者のみ）**





前回調査と比較すると、全体の傾向に大きな変化は見られない。

**図表 187 退所直後の困ったことに対して、主に相談した相手（複数回答）  
（前回調査との比較）**



■平成22年度調査(n=662) □平成27年度調査(n=583) □令和2年度調査(n=502)

（注1）前回調査（平成27年度）では、「配偶者」「学校の友人・先輩」「その他の友人・知人」「施設出身者等のための相談支援機関」「福祉事業所等の職員」を追加した。注2。

（注2）前々回調査（平成22年度）に「職場の上司・同僚」と回答した数値は「職場の上司」に全て含めた。

（注3）前々回調査（平成22年度）に「学校関係者」と回答した数値は「以前通った学校の先生・元先生」に全て含めた。

（注4）前々回調査（平成22年度）に「施設長」と回答した数値は「施設の職員」に全て含めた。

退所直後の困ったことに対して主に相談した相手で、「相談できる人はいない」と回答した人に対して、その理由を自由記述式でたずねた。主な意見は以下の通り。

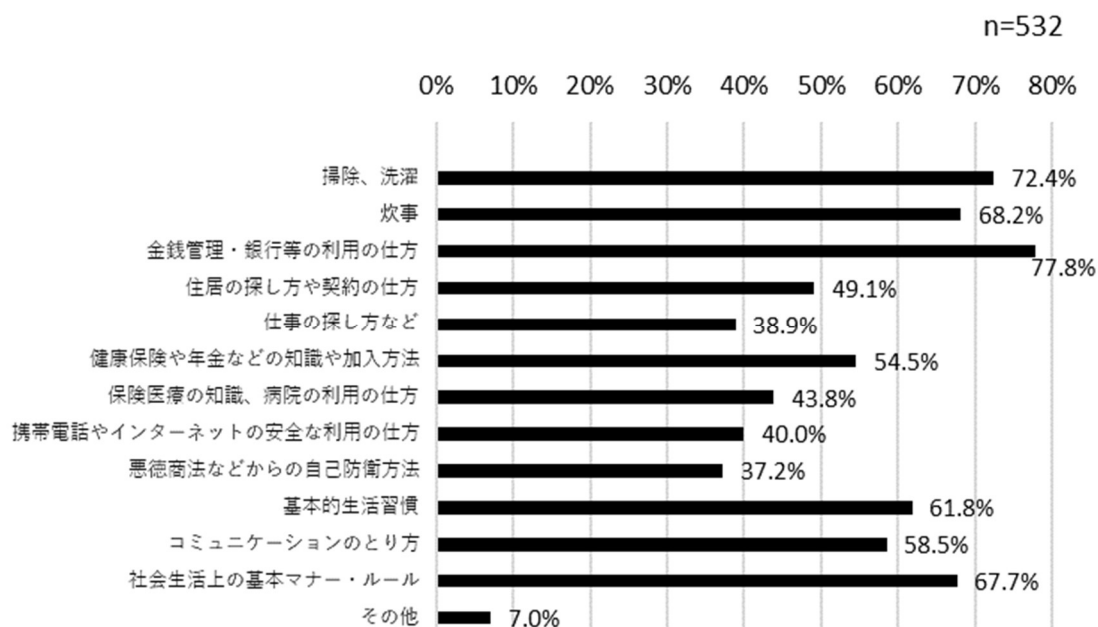
**図表 188 「相談できる人はいない」を回答した理由（自由記述式）**

- ・ 信頼して相談できる人がいなかった（同旨 9 件）
  - ・ 相談しようと思わなかった・困っていなかった（同旨 8 件）
  - ・ 相談しても改善しないため（同旨 7 件）
  - ・ 相談しづらかった（同旨 3 件）
  - ・ 施設育ちを言いたくなかった
  - ・ 自分で調べた方が早いから
  - ・ 携帯電話を持っていなかったから
  - ・ 一人でできるから
  - ・ 親が怖かったから
- 等

**（４）施設等にいる間に、身につけておいたほうがよいこと**

「金銭管理・銀行等の利用の仕方」の割合が最も高く 77.8%となっている。次いで、「掃除、洗濯（72.4%）」、「炊事（68.2%）」となっている。

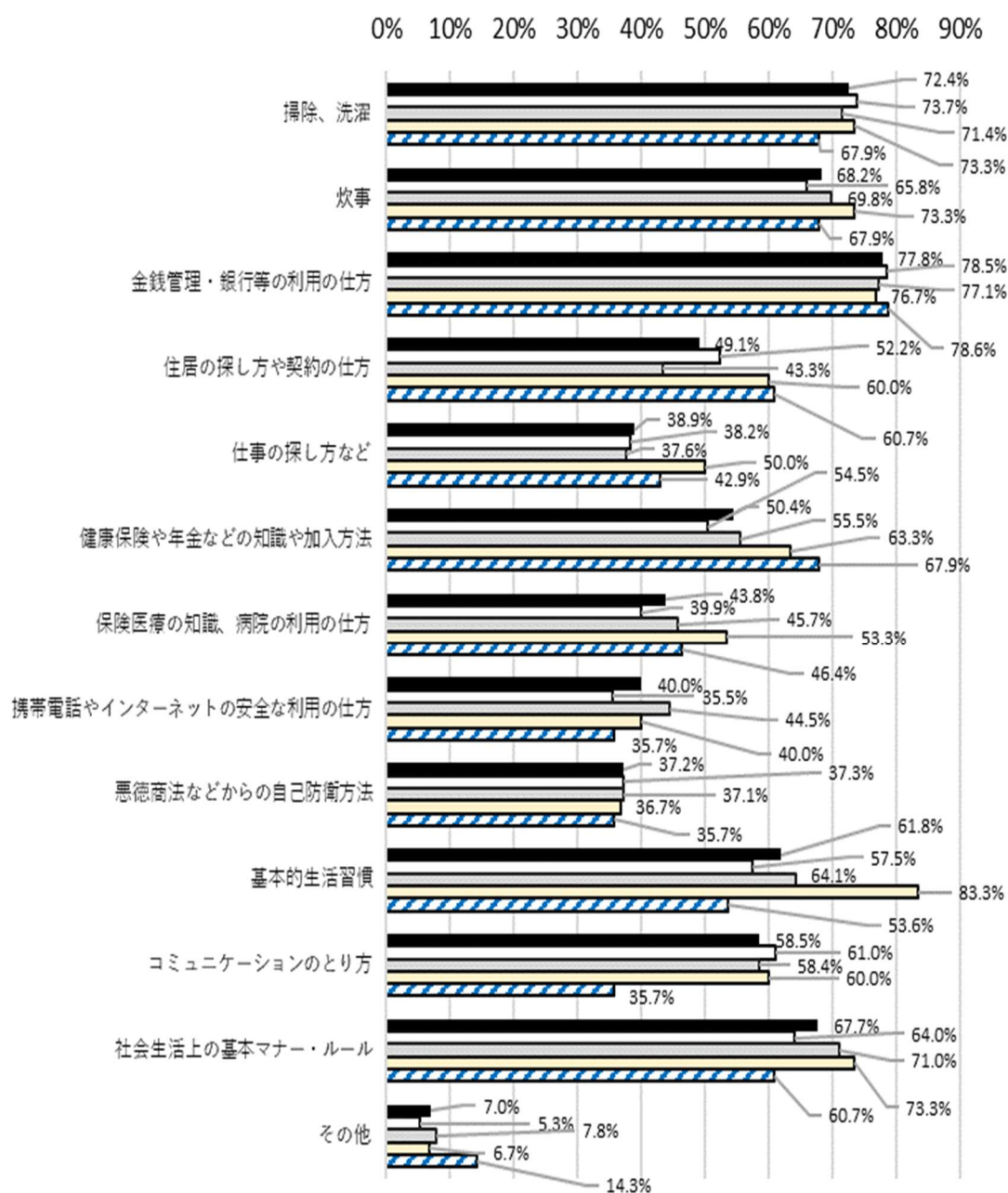
**図表 189 施設等にいる間に、身につけておいたほうがよいこと（複数回答）**



（注）「その他」として、「税金・確定申告について」、「性教育」、「テーブルマナー」、「自分で調べる力」、「人間関係」、「困った時に相談できる窓口の確認」、「自分の趣味を見つけること」、「借りられる給付金」などが挙げられた。

退所直後の進路別にみると、「就職」では「金銭管理・銀行等の利用の仕方」が78.5%と最も割合が高くなっている。「進学」では「金銭管理・銀行等の利用の仕方」が77.1%と最も割合が高くなっている。「未定だった」では「基本的な生活習慣」が83.3%と最も割合が高くなっている。「その他」では「金銭管理・銀行等の利用の仕方」が78.6%と最も割合が高くなっている。

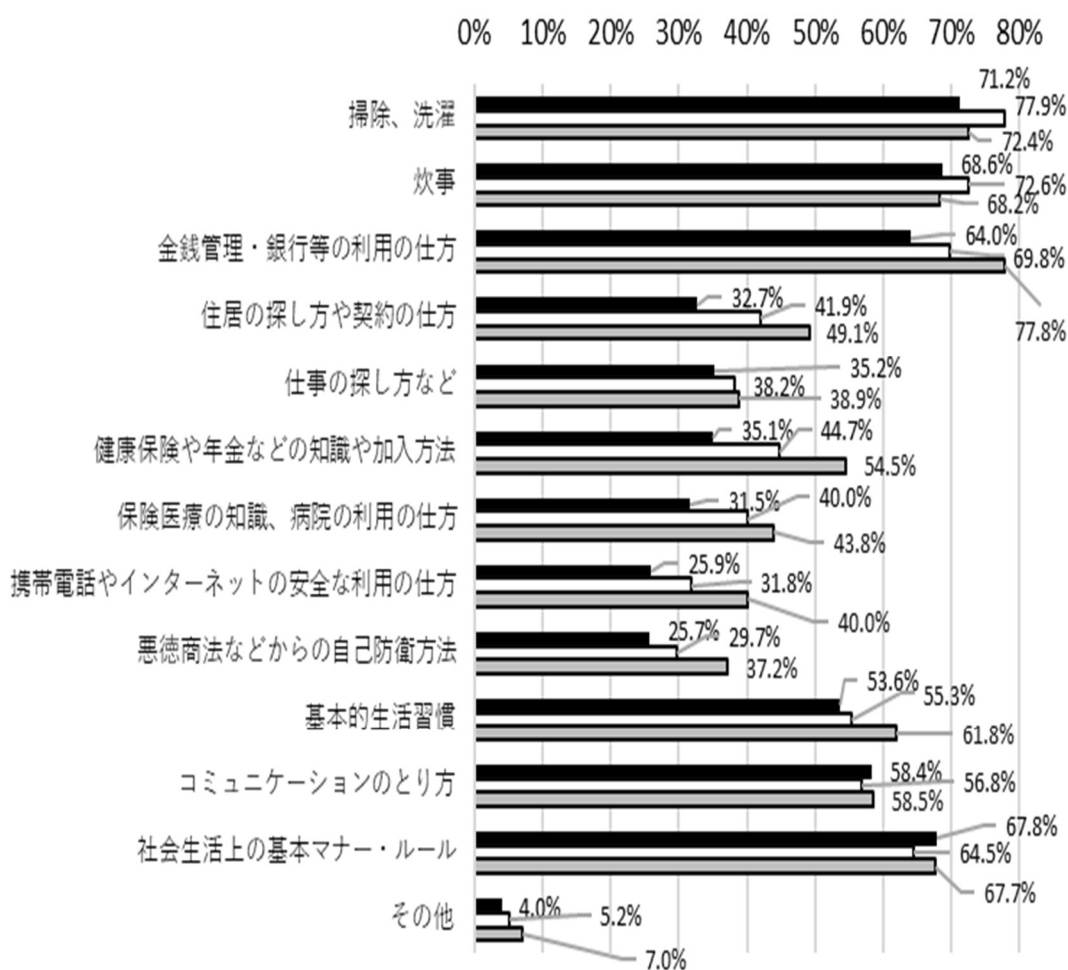
図表 190 施設等にいる間に、身につけておいたほうがよいこと（複数回答）  
（退所直後の進路別）



■ Total(n=532) □ 就職(n=228) □ 進学(n=245) □ 未定だった(n=30) ■ その他(n=28)

前回調査と比較すると、「健康保険や年金などの知識や加入方法」が44.7%から54.5%と9.8ポイント増加、「携帯電話やインターネットの安全な利用の仕方」が31.8%から40.0%と8.2ポイントの増加、「金銭管理・銀行等の利用の仕方」が69.8%から77.8%と8.0ポイントの増加となっている。

**図表 191 施設等にいる間に、身につけておいたほうがよいこと（複数回答）  
（前回調査との比較）**



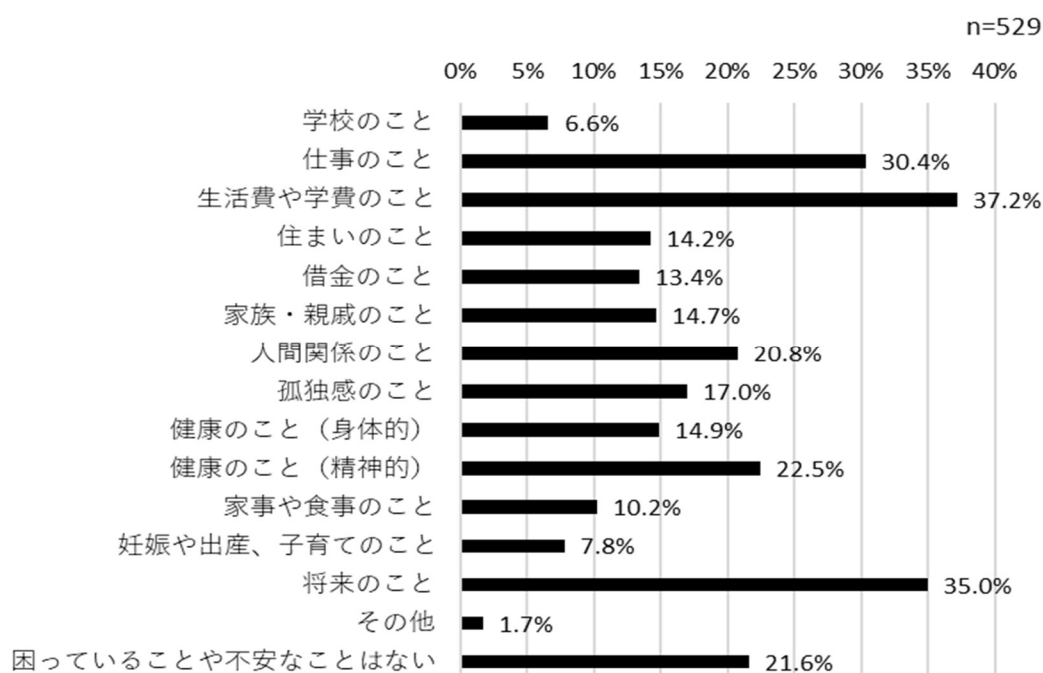
■平成22年度調査(n=673) □平成27年度調査(n=620) ▣令和2年度調査(n=532)

### (5) 現在困っていることや不安なこと、心配なこと

「生活費や学費のこと」の割合が最も高く 37.2%となっている。次いで、「将来のこと (35.0%)」、「仕事のこと (30.4%)」となっている。

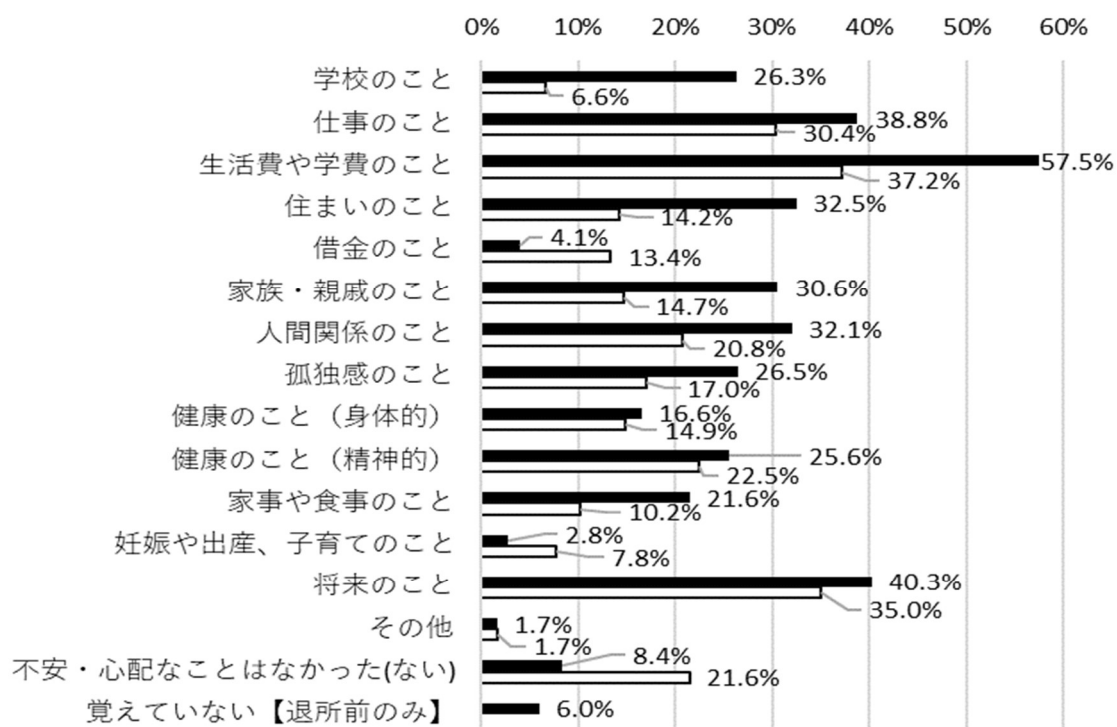
また、その具体的な内容について自由記述式でたずねた。主な意見は、136 ページ (図表 197) 参照。

図表 192 現在困っていることや不安なこと、心配なこと (複数回答)



退所前に不安・心配だったことと、現在困っていることを比較すると、全体的に現在困っていることに関する回答は減少傾向にあるが、「借金のこと」と「妊娠や出産、子育てのこと」、「不安・心配なことはない」については、回答の割合が高くなっている。

図表 193 退所前に不安・心配だったことと、現在の困っていること・不安・心配なことの比較

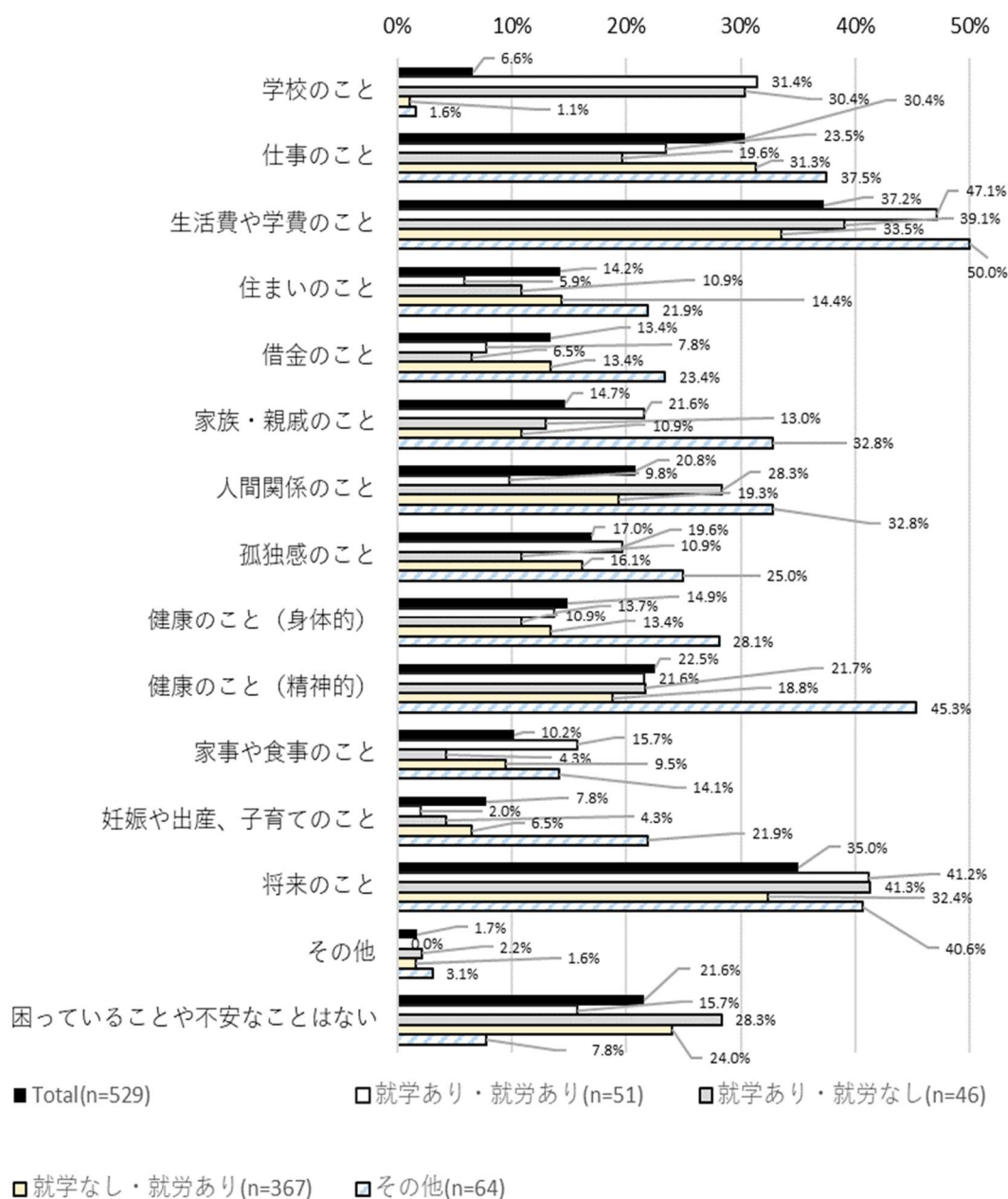


■施設等を退所する前に不安や心配だったこと(n=536)

□現在、困っていることや不安・心配なこと(n=529)

現在の就労・就学の状況別にみると、「就学あり・就労あり」では「生活費や学費のこと」が47.1%と最も割合が高くなっている。「就学あり・就労なし」では「将来のこと」が41.3%と最も割合が高くなっている。「就学なし・就労あり」では「生活費や学費のこと」が33.5%と最も割合が高くなっている。「その他」では「生活費や学費のこと」が50.0%と最も割合が高くなっている。

図表 194 現在困っていることや不安なこと、心配なこと（複数回答）  
（現在の就労・就学の状況別）



図表 195 現在困っていることや不安なこと、心配なこと（複数回答）  
（退所年度別）

		学校のこと	仕事のこと	生活費や学費のこと	住まいのこと	借金のこと	家族・親せきのこと	人間関係のこと
(n=529)	Total	6.6%	30.4%	37.2%	14.2%	13.4%	14.7%	20.8%
(n=24)	平成22年度	0.0%	12.5%	29.2%	12.5%	29.2%	16.7%	16.7%
(n=20)	平成23年度	5.0%	20.0%	10.0%	15.0%	0.0%	10.0%	10.0%
(n=37)	平成24年度	0.0%	18.9%	21.6%	2.7%	5.4%	13.5%	5.4%
(n=43)	平成25年度	0.0%	37.2%	39.5%	16.3%	20.9%	20.9%	14.0%
(n=41)	平成26年度	2.4%	48.8%	39.0%	17.1%	19.5%	14.6%	24.4%
(n=39)	平成27年度	2.6%	33.3%	41.0%	5.1%	23.1%	12.8%	28.2%
(n=64)	平成28年度	6.3%	28.1%	31.3%	14.1%	15.6%	9.4%	18.8%
(n=58)	平成29年度	8.6%	32.8%	62.1%	19.0%	17.2%	17.2%	32.8%
(n=76)	平成30年度	7.9%	38.2%	42.1%	19.7%	9.2%	15.8%	22.4%
(n=88)	令和元年度	15.9%	23.9%	37.5%	12.5%	9.1%	11.4%	19.3%

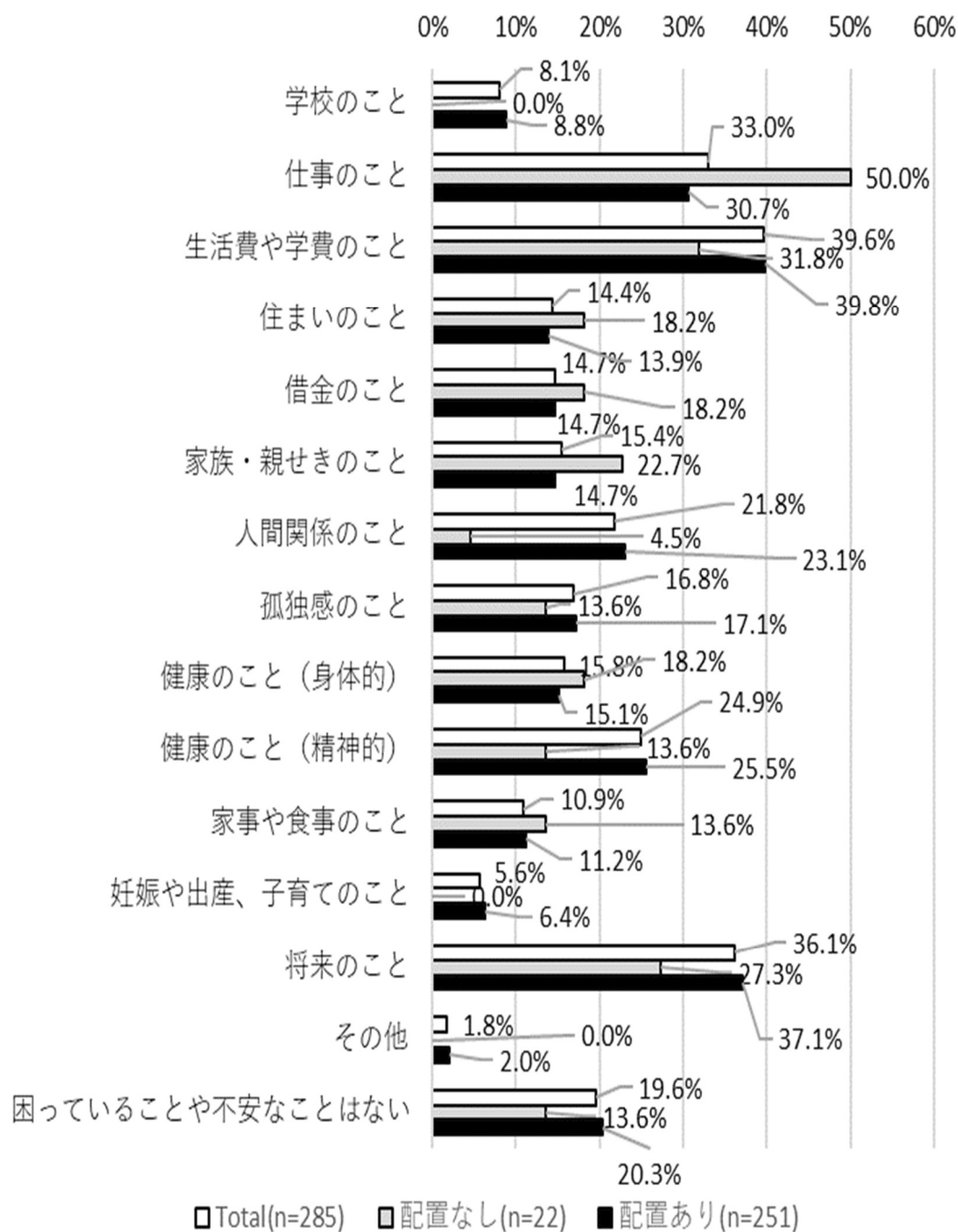
  

		健康のこと (身体的)	健康のこと (精神的)	家事や食事のこと	妊娠や出産、子育てのこと	将来のこと	その他	困っていること や不安なことは ない
(n=529)	Total	14.9%	22.5%	10.2%	7.8%	35.0%	1.7%	21.6%
(n=24)	平成22年度	25.0%	29.2%	4.2%	4.2%	29.2%	0.0%	25.0%
(n=20)	平成23年度	5.0%	10.0%	5.0%	20.0%	40.0%	5.0%	30.0%
(n=37)	平成24年度	10.8%	5.4%	5.4%	10.8%	21.6%	5.4%	35.1%
(n=43)	平成25年度	16.3%	18.6%	14.0%	11.6%	32.6%	4.7%	16.3%
(n=41)	平成26年度	14.6%	17.1%	9.8%	12.2%	34.1%	0.0%	14.6%
(n=39)	平成27年度	10.3%	20.5%	5.1%	2.6%	20.5%	0.0%	20.5%
(n=64)	平成28年度	15.6%	21.9%	10.9%	3.1%	43.8%	0.0%	21.9%
(n=58)	平成29年度	13.8%	31.0%	10.3%	8.6%	39.7%	0.0%	13.8%
(n=76)	平成30年度	17.1%	26.3%	11.8%	7.9%	46.1%	2.6%	19.7%
(n=88)	令和元年度	14.8%	23.9%	12.5%	2.3%	34.1%	2.3%	22.7%



自立支援コーディネーター配置状況別にみると、「困っていることや不安なことはない」を回答した割合は、「配置なし」が13.6%に対し、「配置あり」が20.3%となっている。

図表 196 現在困っていることや不安なこと、心配なこと（複数回答）（自立支援コーディネーター配置状況別）（民間児童養護施設・平成25年度以降退所者のみ）



現在困っていることや不安なこと、心配なことを自由記述式でたずねた。主な意見は以下の通り。

**図表 197 現在困っていることや不安なこと、心配なこと（自由記述式）**

◆**お金・金銭管理について**

- ・ 金銭的に全く余裕がなく、すごく不安です。
- ・ 給料があまり増えないので生活しにくくなるのではないかと。
- ・ アルバイトが出来ないので奨学金以外の収入もなくギリギリであること。
- ・ 進学に際し、奨学金を借りたため、借金があります。1人で生きていくには苦勞しますが、子どもがいるため、金銭面で不安があります。

◆**仕事・就職について**

- ・ 自分にあった仕事を見つけられるだろうか…。
- ・ 将来なにを仕事にすればいいかわからない。
- ・ 希望する職場に就職出来たが、長続きするか分からない。好きなことを仕事にしているのに、好きなことが嫌いになりそう。
- ・ このまま同じ仕事をしていていいのか、今の仕事はあつてないのではないかと悩んでしまう。仕事上簡単に辞められないことは分かっているが体調的にも気持ち的にもいつか限界が来る気がする。

◆**学校について**

- ・ 学校での人間関係。
- ・ 自分ときょうだいたちの学費、授業。
- ・ 学校に復学し、資格を取りたいのですが、現状の生活費を稼ぐのに精一杯で、復学するための勉強に当てる時間、お金もありません。また、復学するのに必要な勉強する上で困った時に教えてくださる先生的な方が欲しいです。

◆**コロナ禍での影響について**

- ・ コロナウイルスの影響により、就職活動への影響がとくに不安です。
- ・ コロナ禍により仕事時間の削減も増え給料が減っていているから。
- ・ コロナの影響で年収が減っている。収入が減ると生活に支障が出るので心配。
- ・ コロナであまり人と会えないことが続いているので、一人でいることが多く、仕事以外で他者とのつながりがなく孤独感を感じます。

◆**結婚、子育てについて**

- ・ 義理の家族とあまり上手く行かない。
- ・ 結婚やお付き合いについて考えた時に、自分や将来的な家族を大切にしてくれる人に出会えるのか。先々のことまで悩んでしまう。考えても仕方ないのですが。
- ・ 子育てをしながら、子どもの将来。自分の働く場所。
- ・ 子供が欲しいが、親がいないわたしに子育てができるのか心配です。

◆親、親せきについて

- ・ 実親との関係。
- ・ 親、きょうだいからお金を貸してほしいと言う連絡がたびたび来る。
- ・ 親が嫌いなので関わりたくないという不安。

◆将来について

- ・ 将来に不安ばかりです。
- ・ 将来家族が幸せに暮らせるのか。
- ・ 将来自分がしたいことのために今何をすべきか分からない。

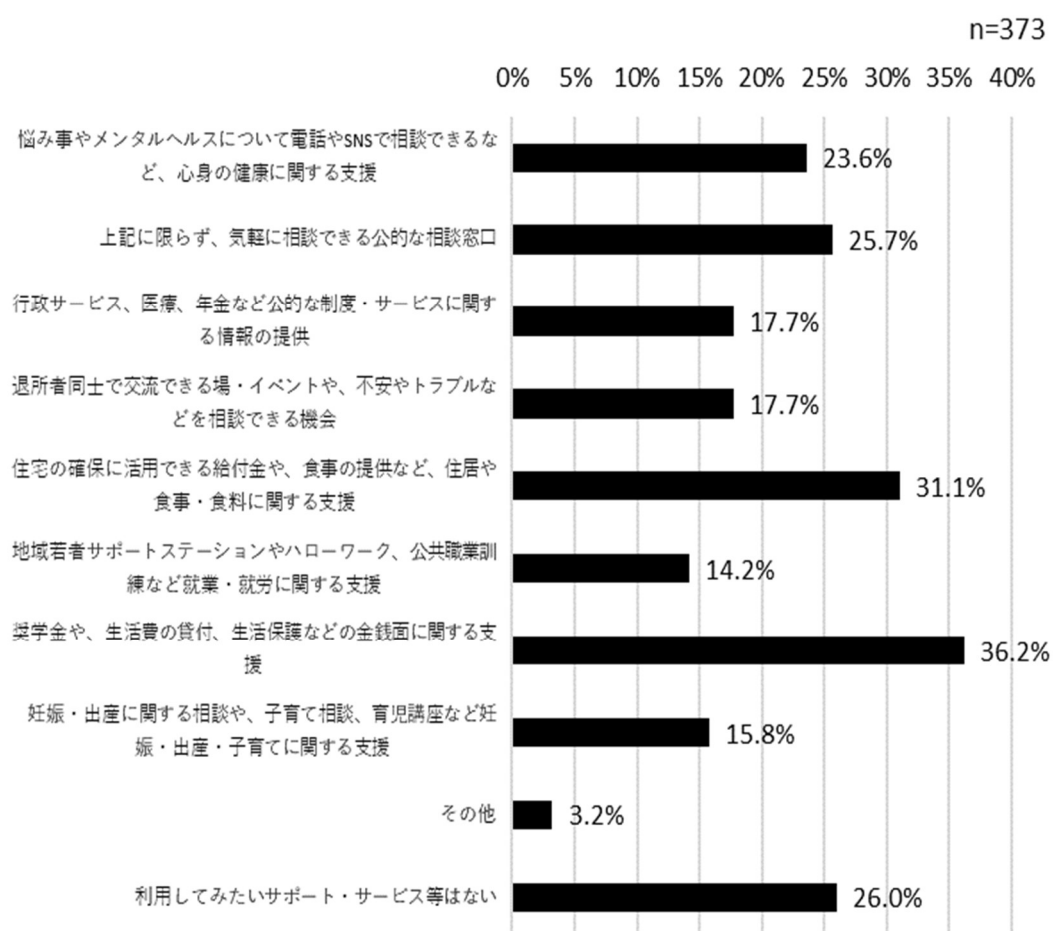
◆その他

- ・ 料理が全然できないことです。
- ・ 一人暮らしするのに保証人がいないので、大丈夫なのかな？と考える時があります。
- ・ 未だに里親の家に住んでいて生活は全部お世話になっているので自立のタイミングがつかめない。

## (6) 現在の不安・心配なことに対して、今後利用したい支援・サービス等

現在困っていることや不安なこと、心配なことについて、「困っていることや不安なことはない」を回答した人を除き、「奨学金や、生活費の貸付、生活保護などの金銭面に関する支援」の割合が最も高く 36.2%となっている。次いで、「住宅の確保に活用できる給付金や、食事の提供など、住居や食事・食料に関する支援 (31.1%)」、「利用してみたいサポート・サービス等はない (26.0%)」となっている。

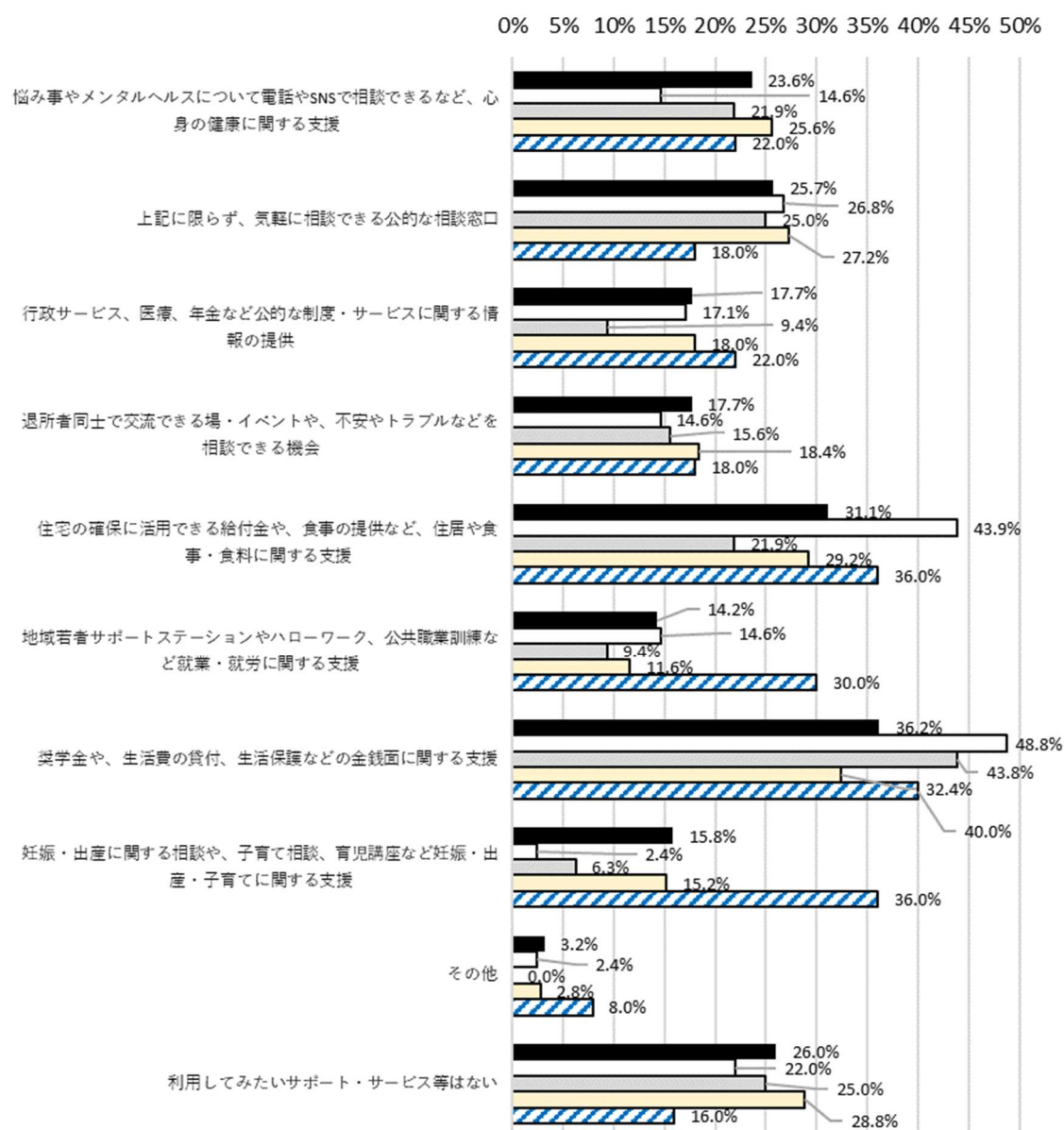
図表 198 現在の不安・心配なことに対して、今後利用したい支援・サービス等  
(複数回答)



(注) 現在困っていることや不安なこと、心配なことについて、「困っていることや不安なことはない」を回答した人を除き集計。

現在の就労・就学の状況別にみると、いずれも「奨学金や、生活費の貸付、生活保護などの金銭面に関する支援」の割合が最も高く、「就学あり・就労あり」では48.8%、「就学あり・就労なし」では43.8%、「就学なし・就労あり」では32.4%、「その他」では40.0%となっている。

**図表 199 現在の不安・心配なことに対して、今後利用したい支援・サービス等（複数回答）（現在の就労・就学の状況別）**

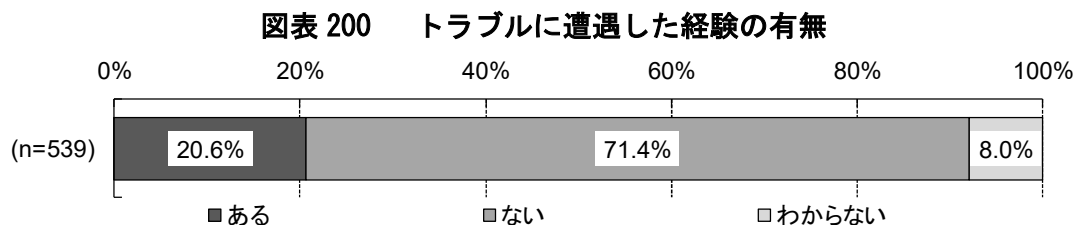


■ Total(n=373)      □ 就学あり・就労あり(n=41)      □ 就学あり・就労なし(n=32)  
 □ 就学なし・就労あり(n=250)      ■ その他(n=50)

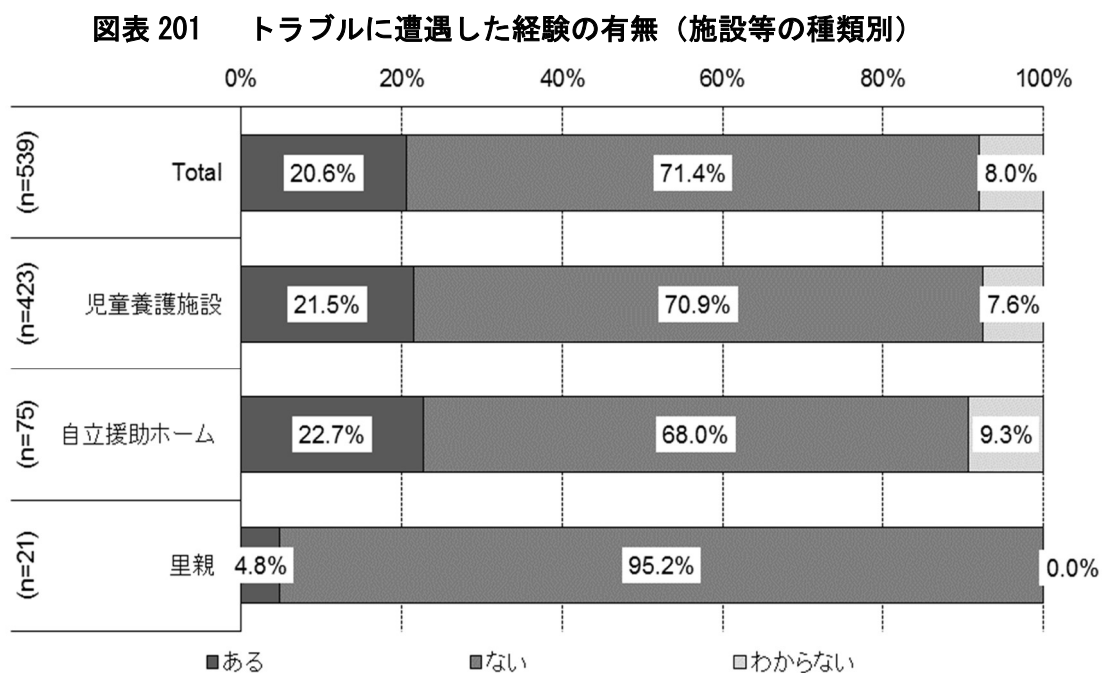
(7) 退所後に、法的なアドバイス等を必要とするトラブルに遭遇した経験

① トラブルに遭遇した経験の有無

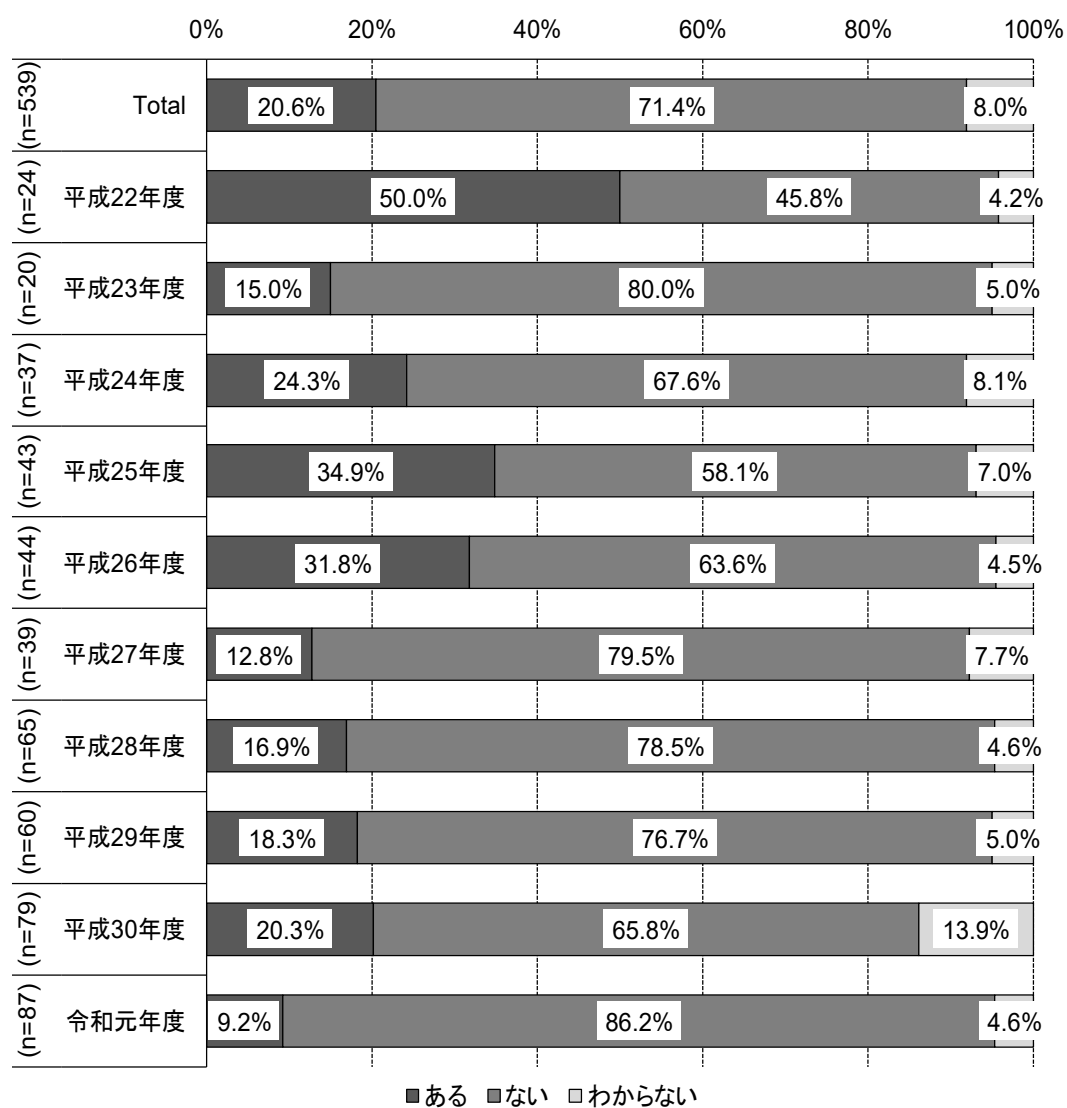
「ない」の割合が最も高く 71.4%となっている。次いで、「ある (20.6%)」、「わからない (8.0%)」となっている。



施設の種類の別に見ると、いずれも「ない」の割合が最も高く、「児童養護施設」では 70.9%、「自立援助ホーム」では 68.0%、「里親」では 95.2%となっている。



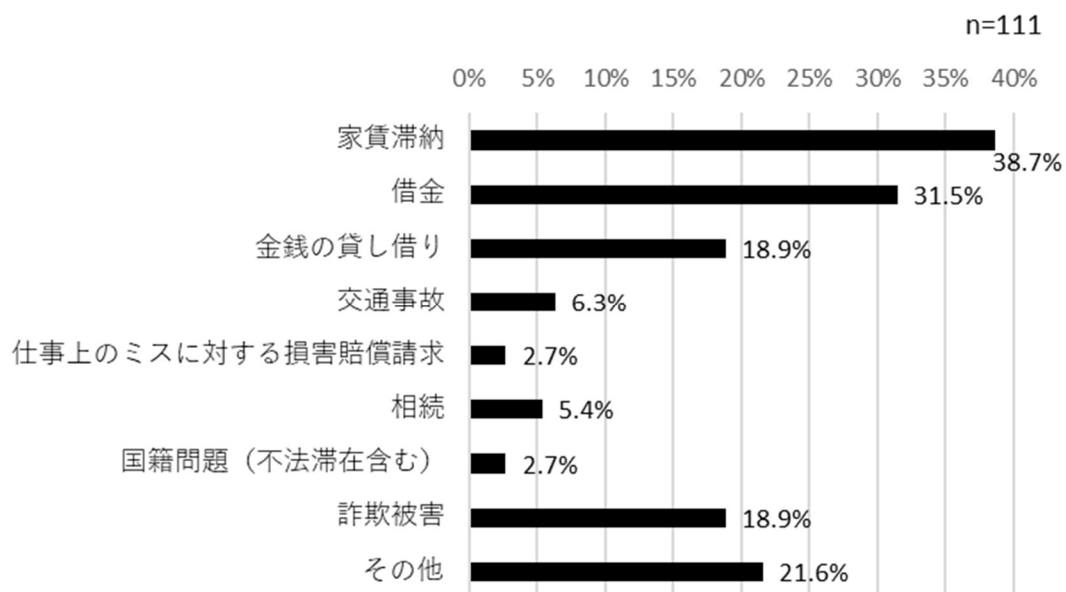
図表 202 トラブルに遭遇した経験の有無（退所年度別）



## ② 遭遇したトラブルの内容

トラブルに遭遇した経験の有無について「ある」を回答した人にたずねたところ、「家賃滞納」の割合が最も高く 38.7%となっている。次いで、「借金(31.5%)」、「その他(21.6%)」となっている。

図表 203 遭遇したトラブルの内容（複数回答）



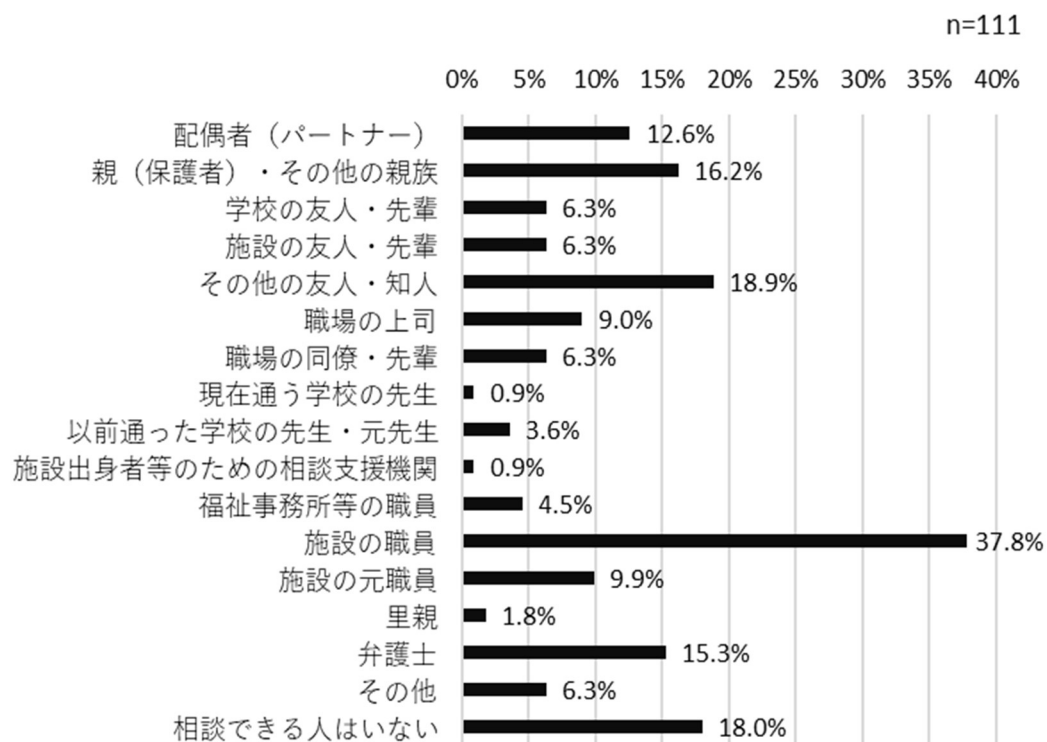
(注)「その他」として、「支払い滞納問題」、「性被害」、「宗教トラブル」、「パワハラ被害」、「離婚」、「住民トラブル」などが挙げられた。



### ③ トラブルに遭遇した際の相談相手

トラブルに遭遇した経験の有無について「ある」を回答した人にたずねたところ、「施設の職員」の割合が最も高く 37.8%となっている。次いで、「その他の友人・知人 (18.9%)」、「相談できる人はいない (18.0%)」となっている。

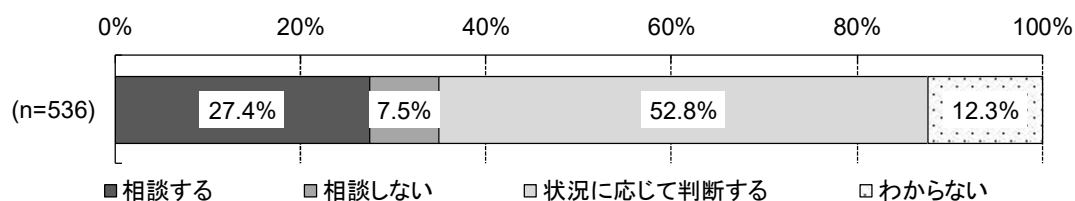
図表 204 トラブルに遭遇した際の相談相手（複数回答）



④ トラブルに遭遇した際の相談窓口（法律の専門家からアドバイスがもらえる機会）の利用意向

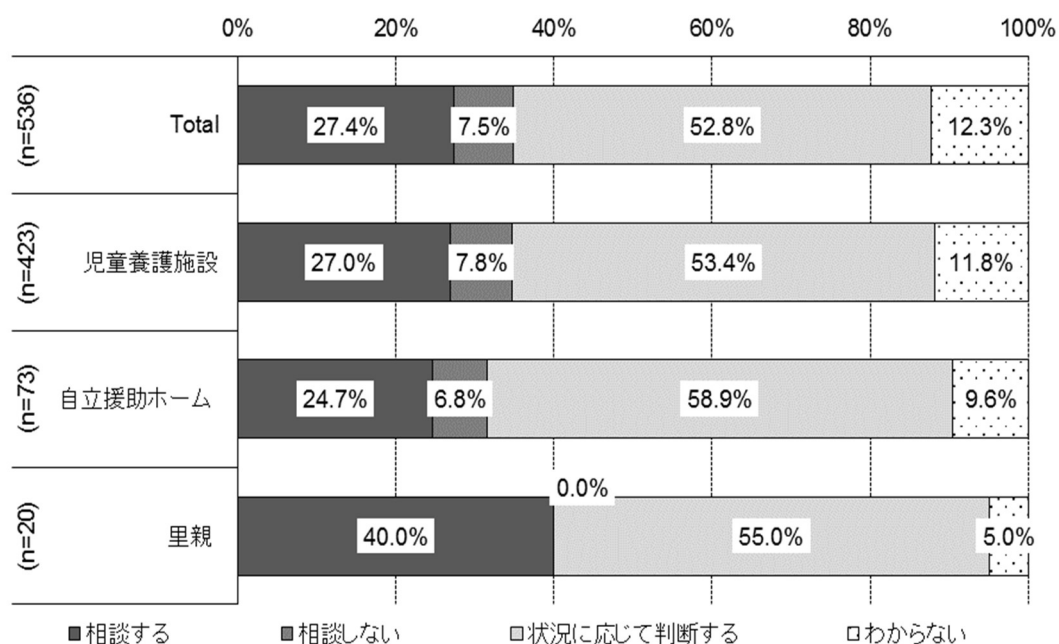
「状況に応じて判断する」の割合が最も高く 52.8%となっている。次いで、「相談する（27.4%）」、「わからない（12.3%）」となっている。

図表 205 相談窓口（法律の専門家からアドバイスがもらえる機会）の利用意向



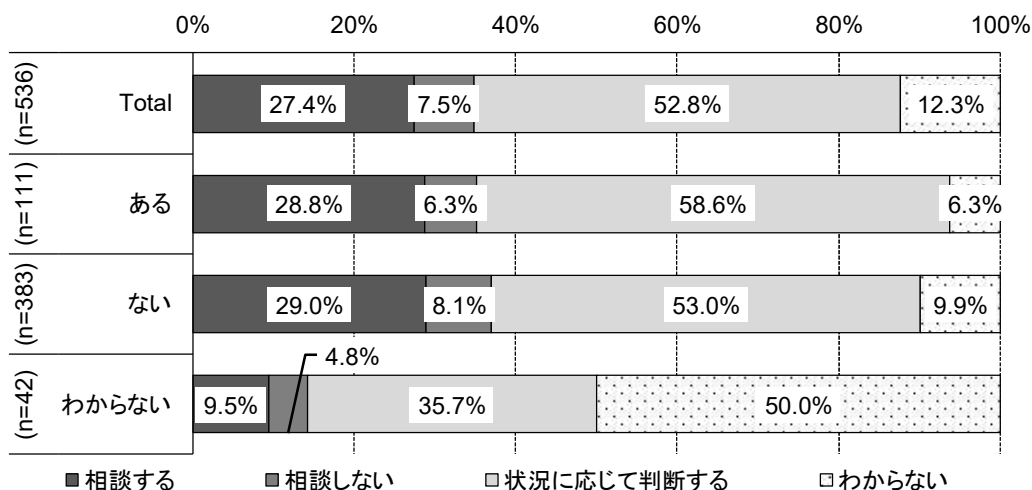
施設の種類別にみると、いずれも「状況に応じて判断する」の割合が最も高く、「児童養護施設」では 53.4%、「自立援助ホーム」では 58.9%、「里親」では 55.0%となっている。

図表 206 相談窓口（法律の専門家からアドバイスがもらえる機会）の利用意向（施設等の種類別）



トラブルの遭遇経験の有無別にみると、「ある」及び「ない」ではいずれも「状況に応じて判断する」の割合が最も高く、「ある」では 58.6%、「ない」では 53.0%となっている。「わからない」では「わからない」が 50.0%と最も割合が高くなっている。

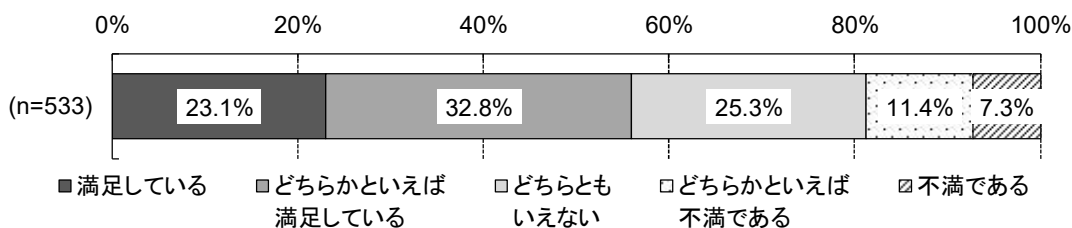
**図表 207 相談窓口（法律の専門家からのアドバイスがもらえる機会）の利用意向（トラブルの遭遇経験の有無別）**



**(8) 現在の生活の満足度**

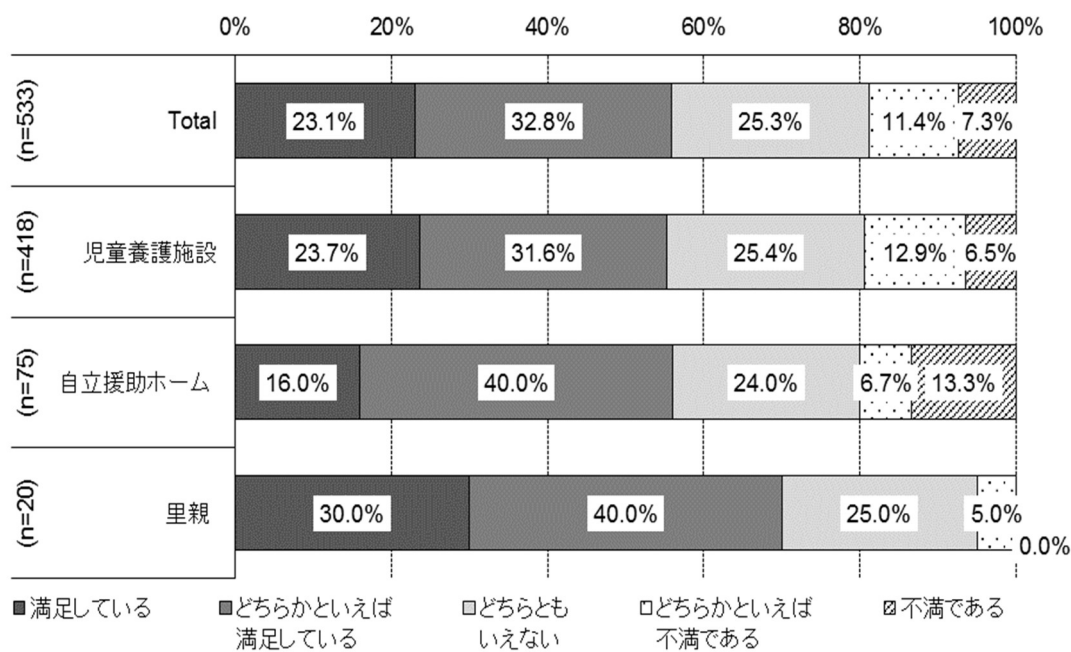
「どちらかといえば満足している」の割合が最も高く 32.8%となっている。次いで、「どちらともいえない (25.3%)」、「満足している (23.1%)」となっている。

**図表 208 現在の生活の満足度**



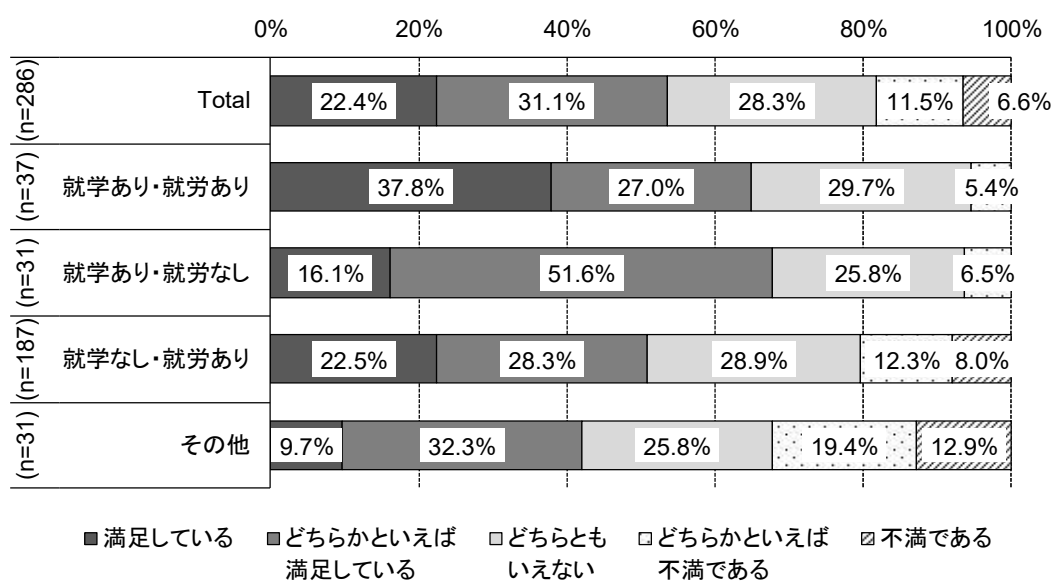
施設の種別別にみると、いずれも「どちらかといえば満足している」の割合が最も高く、「児童養護施設」では31.6%、「自立援助ホーム」では40.0%、「里親」では40.0%となっている。

図表 209 現在の生活の満足度（施設等の種別別）



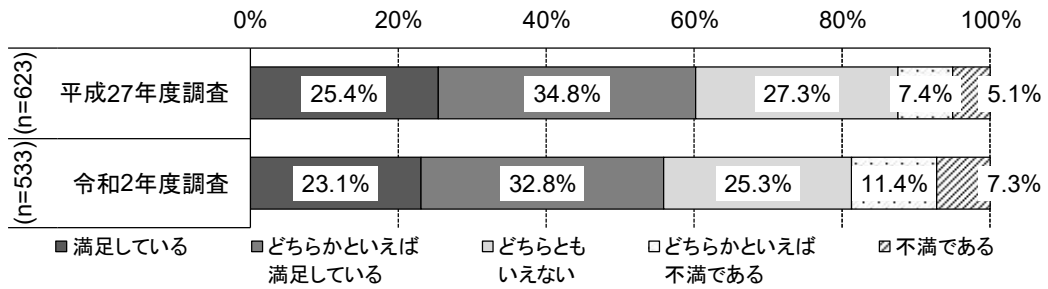
現在の就労・就学の状況別にみると、「就学あり・就労あり」では「満足している」が37.8%と最も割合が高くなっている。「就学あり・就労なし」では「どちらかといえば満足している」が51.6%と最も割合が高くなっている。「就学なし・就労あり」では「どちらともいえない」が28.9%と最も割合が高くなっている。「その他」では「どちらかといえば満足している」が32.3%と最も割合が高くなっている。

図表 210 現在の生活の満足度（現在の就労・就学の状況別）



前回調査と比較すると、「満足している（23.1%）」と「どちらかといえば満足している（32.8%）」を合わせると55.9%で4.3ポイント減少、「どちらかといえば不満である（11.4%）」と「不満である（7.3%）」を合わせると18.7%で6.2ポイント増加している。

図表 211 現在の生活の満足度（前回調査との比較）



### (9) 目標・希望等の実現のためにあったらよいサポート・サービス

目標としていることや向き合いたいこと、生活するうえでの希望や願望、実現のためにあったらよいサポート・サービスを自由記述式でたずねた。主な意見は以下の通り。

図表 212 目標・希望等の実現のためにあったらよいサポート・サービス (自由記述式)

いま目標としていることや向き合いたいこと、生活する上での希望や願望	実現のためにあったらよいサポート・サービス
1人暮らし。自立すること。	住まいの探しサポート
人とのコミュニケーションの円滑化、生活に必要な基本的な知識(公的書類の書き方など)の習得	住民票などの公的な書類の書き方や、必要なサポートをしてくれる施設の把握。
カウンセリング。自分の抱えている過去について向き合い、整理していきたい	金銭的サポート。施設出身者に対するカウンセリングの無料支援。施設出身者への育児をする際の金銭的サポート
自分の実家庭に関する過去のトラウマおよび家族との関係性	親を亡くした人のためのグリーフケア、家族との関係性について相談できる場所
どう生きたいかをよく考え、自分にとっての幸せとは何かを知る。自分の軸をしっかりと持ち、価値観に沿った選択を日々実行する。	進学していても、していなくても、本から学べることはたくさんあると思います。教育や自己投資は贅沢品です。電子書籍を退所後に使用できるサービスが有れば、素晴らしいと思います。
なあなあに生きてきた自分の人生と向き合いたい。大学に行って勉強がしたい。結婚して家族が欲しい、幸せになりたい。	気軽に相談出来る場所が欲しい、ボランティア団体などは遠くて通えない為ネットだと有難い。
ひとりの人間として自立したい。家事育児をしながら仕事もしたいし高校卒業等の資格が欲しい。落ち着ける環境も欲しいし生活に困らないほどのお金が欲しい。	金銭的援助
学業	奨学金の申請複雑でしたので申請の仕方を優しく教えてくれる所あればいいなと思いました。
大学院進学	大学院進学時の給付型奨学金
国家試験に合格すること	アルバイトがあまり出来なくなるから余裕を持って暮らせるくらい金銭的な援助

いま目標としていることや向き合いたいこと、 生活する上での希望や願望	実現のためにあったらよいサポート・サービス
就職先を決めて、安定した生活を送る。安定したらいつか猫を飼いたい。	就職サポート
就職活動をしていくうえで、自分と向き合えない。ただ就職したい、就職浪人にはなれない、という気持ちが強くて、企業が求めている志望理由などを考えるに至れない。	大学の学生相談室のような、カウンセリングでもなく、ただ話を聞いてくれる人がほしいのかもしれない。
資格取得の上、再就職	施設に居る間に簡単な資格取得
海外でキャリアを積みたい。	英語を学習しておりますが金額が高い為、安く通えるようにして欲しいです。
家庭を築くこと。いつか自分と同じ状況の人に何かしらの形で還元すること。	施設を出た人用の財形貯蓄制度や、単身者向けの住宅支援サービス等。お金にまつわることです。
子育てを頑張る事	自分の育った施設で、子供を一時保育してくれるとか！知ってる職員とかいるから、安心して預けられそう！
子供に自分と同じ思いをさせたくない。子供には自分のやりたい事を我慢せず出来るだけさせてあげたい。自分にはなかったので将来的にはマイホームを建てて、子供が大人になっても帰って来れる場所を作ってあげたい。	お金に関しての知識がないので教えて貰えるようなところがあったらなと思う
社会的養護出身者と胸を張って言える世界になれば良いなと思います	社会への啓発
普通に生きたい。家族がいるように振る舞うのをやめたい	児童養護施設への偏見をなくす



## (10) 国や東京都、施設等に伝えたいこと

国や東京都、施設等に伝えたいことを自由記述式でたずねた。主な意見は以下の通り。  
なお、全国調査と一体的に実施したため、国に対する意見も同時に聴収している。

**図表 213 国や東京都、施設等に伝えたいこと（自由記述式）**

### ◆感謝の気持ち

- ・ 育ててくださりありがとうございました。
- ・ 18まで面倒みていただきありがとうございました。
- ・ いつも相談に乗っていただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・ 結果的に、施設にいたことは自分の人生においていい経験でプラスだったと思うので感謝しています。
- ・ 施設からの支えはありましたが、公的機関、営利企業問わず様々な支援をしてくださったおかげで大学卒業、就職することができました。ありがとうございます。
- ・ 里親はいつ連絡しても嫌がらず歓迎してくれる。本当に感謝しています。これからは私も助ける方の人間として協力していきたいです。
- ・ 施設や里親さんには大変お世話になりました。退所後も引き続き連絡を取っていただき、とても感謝です。大したことはできませんが、いつか恩返しができたら良いと思っています。

### ◆措置中の生活について

- ・ たくさん支えてもらいました。しかし、なかなか素直に支えてほしいと言えない子供たちが多いと思います。その子たちのために助けを出せる関係性になってほしいなと思います。
- ・ もう少し児童の思っていることを職員の思っている、考えている事だけではなく、尊重してほしい。
- ・ 施設にいた本気で向き合ってくれる人と仕事だから行っている人は熱量が違ったなと感じました。主観的なものなので判断が難しいと思いますが、施設にいる子どもと関わる上で一番大切なのは専門的な知識や経験ではなく、目の前の子に本気で関わられるかどうかだと思います。偉そうですみません。育ててくださりありがとうございました。とても感謝しています。
- ・ 高校生の教育費用などの拡大(通塾のための費用、部活など課外活動にかかる費用)、施設職員の労働環境改善(給料、手当、休暇)、職員一人に対する児童の数を減らす(10人以下のホーム・ユニットを増やす)。
- ・ 十分すぎる生活環境を与えていただいて、何不自由なく生活したのは初めてでした。自分は施設や里親さんに支えてもらうことが出来たけど、きっと今はグレーゾーンにいる子たちがたくさんいると思うので保育園にもっともっと出向いて、ヘルプが

必要な子たちを救ってあげて欲しいです。

- ・ 施設の高校生は最後の学生の人達が多いので、貯金の範囲内である程度職員が管理しながら色々な所に友達と行ったりさせてあげて欲しい。友達とテーマパークなど行ったことがありませんでした。高校生だからこそ楽しめたことが出来なかったのが1番心残りでした。

#### ◆自立に向けた支援について

- ・ しっかりと、施設から出ても独り立ちできる様に練習みたいなことや契約等のやり方もしっかりと教えあげて欲しい。
- ・ 施設へ。もっと丁寧に住まいのことや今後のことについて話をしてください。
- ・ 施設にいと、一般的な家庭のことや常識を知らずに育っていることも多いのでしっかりと教えるべきだと思う。特に医療費に関しては、在寮中は全くかからないので医療費や保険証、保険料などのことを退所してから自分で調べることになる。公的な手続きなども自分でやるのが少ないため、退所すると非常に困る。そういうことも自分きちんとできるように最低限教えるべきである。18歳で退所し、1人で生活していくことの大変さを、しっかりと自覚させてほしい。退所後の相談や窓口といったサポートも大切だが、このような生活していく上で重要な知識も、退所者の支えになると思う。

#### ◆措置解除後の支援について

- ・ 金銭的な支援がもう少し増えると助かる。
- ・ 退所後に安い家賃で住めるような場所を用意して欲しい。
- ・ 大学卒業後、就職をしてから、いろいろな面で安定した。未成年のうちや学生など体が不安定な間は、金銭面や精神面のサポートが必要だと思う。
- ・ 現在の支援金や補助金等はそういう事に詳しい知り合いでもない限り知る機会が限りなく少ないし、無駄に複雑になっていると思う。
- ・ もう少し施設を退所した人たちに対する生活面のサポートを充実させてほしい。
- ・ 施設に関しては、年代を問わずやっぱりできる限りコミュニケーションをとってあげることと、雑談でもいいので、聞いてもらえると、ストレスも少しは軽くなりますし、いいんじゃないでしょうか？
- ・ お金がかからず保証人代行をしてくれるサービスがほしいです。住宅支援や生活資金支援がより充実すると嬉しいです。引っ越し支援があると助かります。施設などからこまめに連絡があると嬉しいです。施設の元職員や現職員とプライベートで会えるといいと思いました。

#### ◆その他

- ・ 児童養護施設で働く方々の給与面等の待遇を良くしてあげてほしいです。とても大変な仕事だと思います。

- ・ 貴重な機会でした。私のアンケートがぜひ活用されて、これから施設等を出て独立される方々の為になるのなら、この上なく素晴らしいことだと思います。引き続きよろしくお願いします。
- ・ 18歳以降も施設にいれるようになったおかげで、資格を取り生活する際のお金に怯えずに済んでいます。とても助かる制度です。ありがとうございます。
- ・ いつもありがとうございます。私の意見としては、子供たちが過ごしやすく、退所後の選択肢の多くなるような制度や支援が増えれば、人として成長する機会が増えてもっと明るい日本になると思います。1人で生活する子供たちも多いのが現実としてあるので、お金で苦しむ子供が減ることを祈っています。私も苦勞して、いまでは多くの人と楽しく仕事が出来ていますが、出会いがあったからであり、出会いのない子は日の目を浴びずに苦勞しているのだと思います。1人で戦わなければいけない子が1人でも減るように国や東京の皆さんに期待しています。よろしくお願いします。